

会 議 録

第 1 7 回定例会

開会 令和 4 年 1 2 月 2 2 日

教育委員会会議録

1 開 会 令和4年12月22日 午前10時

2 閉 会 令和4年12月22日 午前11時35分

3 教育委員会出席者

教育長	榊 浩一
委 員	菊池 健次
委 員	島 隆寛
委 員	三木 千佳子
委 員	河野 暁
委 員	岡本 弘子

4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	臼杵 一浩
教 育 次 長	中野 敏章
教 育 次 長	生田 雅和
教 育 創 生 課 長	重田 英紀
教 職 員 課 長	眞摺 秀也
福 利 厚 生 課 長	大西 秀城
体 育 健 康 安 全 課 長	吉岡 直彦
教 育 政 策 課 長	小原 広行
教 育 政 策 課 副 課 長	山星 茂

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 議案第48号，議案第49号，協議事項1，報告事項4及び報告事項6を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし，議事に入ることを告げる。

《報告事項2 第3回「徳島県公立高等学校魅力化推進委員会」の概要について》

教育長 報告を求める。

教育創生課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

島委員：素晴らしい取組であるので，これから入学してくる中学生に対して是非広報していただきたい。この取組内容については，スクール・ポリシーにのっとって高校生自身が考えたものなのか，それとも教員からの提案によるものなのか。

教育創生課長：両方のパターンがある。脇町高校であれば，長年，スーパーサイエンスハイスクールの指定を受けて取り組んできており，その取組のなかで生徒から提案された部分はあると思う。那賀高校についても，最初は学校からの提案があったのかもしれないが，生徒が自ら考えて，こういうことをしたい，このような工夫をしていきたいといったことも取り組むなかで，今の形に進化してきたのではないかと考えている。

岡本委員：高校生の素晴らしい取組であると感心した。小学校において総合的な学習の時間を指導するなかで，どのような学力に結びつけて取り組むのかを検

証されなければいけないと感じていた。素晴らしい取組によって、生徒たちはコミュニケーション能力がついたなどと言っていたので、そのなかで教科としての学力にも関連付けて、どのような成果があったのかを検証していき、このような活動が系統的、体系的につながっていけばいいと思う。

《報告事項3 第1回「徳島県教育振興審議会」の概要について》

教育長 報告を求める。
教育創生課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

菊池委員：審議会委員の話聞きながら、良い人選をしていると実感した。特に、生光学園高校教諭のスポーツに関する発言等、まさに現場サイドの声を聞くことができた。これからもいろんな意見を取り入れながら、大綱等の策定に向けて取り組んでいただきたい。

河野委員：部活動の地域移行及びそれに伴い検討される総合型地域スポーツクラブの整備・充実の動きは、中学校においては非常に大きなものであり、現場では大変な混乱が予想されるため、大綱等の中でも大きく捉えることが重要ではないかと考える。

教育創生課長：当該計画策定に当たっては、現場の生の声を反映させたいと考えており、審議会委員には、現場で活躍している先生方に入っていただいている。また、部活動の地域移行については、大綱との兼ね合いもあるが、委員の皆様の御意見をお聞きしながら、しっかりと検討していきたい。

《議案第47号 議会の議決を要する議案（令和4年度11月補正予算案）に係る教育長の臨時代理の報告について》

教育長 説明を求める。
教育政策課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第47号を原案どおり決定してよいかを諮る。
各委員 異議なし。
教育長 議案第47号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項1 「世界に誇れ！とくしまのまるごと魅力発信！」作品の選考結果について》

教育長 報告を求める。
教育政策課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

河野委員：応募作品は動画の印象が強く、城ノ内高校の生徒作品はもっと見たいと感じた。撫養小学校や池田支援学校の作品は、ストーリーがまとまっている印象を受けた。文章で工夫している作品も、動画にするとアピール力が高まると思うので、完成を楽しみにしている。

教育政策課長：動画での応募は募集要項で「1分以内」と定めていた。今後、クリエイターと協働し制作する動画は3分程度となる。

島委員：審査にあたり、点数に差をつけるのが難しかった。動画優位になりがちだったと感じるので、今後は写真と動画で部門を分けてもよいと思う。募集に際しては、「自身で撮影したものに限る」といった線引きが必要かと思う。また、審査項目に「外国語による発信」という観点があったが、外国語での応募は少なかった。募集時に審査基準を示しておけば、応募側と審査側、どちらも取り組みやすいと思う。

教育政策課長：今回の事業は万博の気運醸成も兼ねており、裾野を広げるため募集要件には幅を持たせた。今後、類似事業を実施する際には、募集要件や方法等、参考にしたい。

岡本委員：発信のテーマや対象が広く、少しぼやけていたように感じた。応募作品も、動画や写真のほか、文章で工夫しているものもあり、比較・評価が難しかった。今後、完成した動画を発信する際は、媒体や方法を検討し、多くの人が見られるよう広く宣伝してほしい。また、応募作品はどれも徳島の魅力を伝えようと一生懸命取り組んだものだと思うので、何らかの形で公表してはどうか。

教育政策課長：発信して多くの人に見てもらうことは本事業の目的に沿っており、参加した子どもたちの今後の意欲につながると考えている。先ほど、県YouTubeでの発信と説明したが、学校等関係機関や市町村にも協力を呼びかけ、保護者を含め広く啓発していきたい。さらには、県外に

とどまらず国外に向けて発信という趣旨から、動画制作の際には専門事業者に関わってもらい、多言語でPRしていきたいと考えている。

河野委員：県外から来た人と話した際、徳島のことを褒めてくれ、県内の人が気付かない徳島の魅力があると感じた。今後このような機会があれば、県外の人にも審査に入っていていただき、異なる視点から評価してもらうのも良いと思う。

教育政策課長：地元の間が気付かない魅力がたくさんあり、県外の人やいろんな経験を積んだ人等、様々な人に審査してもらうのは有意義だと思う。今後、類似事業を実施する際は検討したい。

《報告事項5 令和6年度徳島県教員採用候補者選考審査の変更点について》

教育長 報告を求める。
教職員課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

岡本委員：教員不足は大きな課題であると認識している。徳島県は倍率が高いが徳島県の教員を目指す人が少ないことが危惧される。他県の状況を見ると、ポイント制がある。今の学生は、地元に戻る人は少なく、自分で選んで他県に行く人が多くなっている。現在の教員採用審査もいろいろなことに配慮されているが、多くの人に選ばれる教員採用審査になるよう、さらに工夫が必要だと考える。例えば、現場で初めて教員として働く場合、いろいろと課題が多いので、インターンシップなどを行い、現場から学ぶ機会を設けるなどできればいいのではないかと考える。また、インターンシップを行った際には、徳島県としてのポイントを付与するなど、学生にとって魅力ある工夫をすることで、徳島のために働いてくれる人が増えていくのではないかと考える。

教職員課長：本県としても様々な改革をしており、受審者にとって魅力ある採用審査が行えるようになればと考えている。今回、大学推薦を新設するが、全国の大学から推薦してもらった受審者には論文を免除するという点は、受審者にとって魅力になるのではと考える。あるいは、ポイントにはならないが、今年採用審査で特別支援学校教諭に合格した者を対象にインターンシップを始めることとしており、採用になった人を大切に育てていこうと考えている。また、医療的ケア担当教諭としての学校看護師の採用は、全国でもまだ2県ほどしか行っていない先駆的な取組であるが、

医療的ケアの必要性から考えると重要なことであると考えている。今後も様々な工夫を重ねながら、魅力ある教員採用審査となるように取り組んでいきたい。

[非公開]

《協議事項 1 教職員人事異動に関する案件について》

《報告事項 4 教職員人事異動に関する案件について》

《議案第 4 8 号 公文書公開請求拒否決定に対する審査請求事案の徳島県情報公開審査会への諮問について》

《議案第 4 9 号 公文書公開請求拒否決定に対する審査請求事案の徳島県情報公開審査会への諮問について》

《報告事項 6 令和 4 年度全国体力・運動能力，運動習慣等調査の結果について》

《議案第 5 1 号 退職手当の支給制限処分について》（追加）

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午前 1 1 時 3 5 分